

# AERA Kids with

2020 春号  
定価998円

新学期特集号

新入学・新学期前に  
知っておきたい

学年&教科別

学びのポイント全解説



日本・外国のお話

科学・算数 生き物・自然

ノンフィクション 生活・実用

怖~い絵本 しきけ絵本

言葉遊び



小学生のうちに  
読みたい本  
**154冊**

識者16人が  
厳選!

私はこの本を  
おすすめします!

ママの悩みを  
解決する本

星渉さんの  
親のトーク術



プロの家庭から学ぶ!

学習環境のつくり方

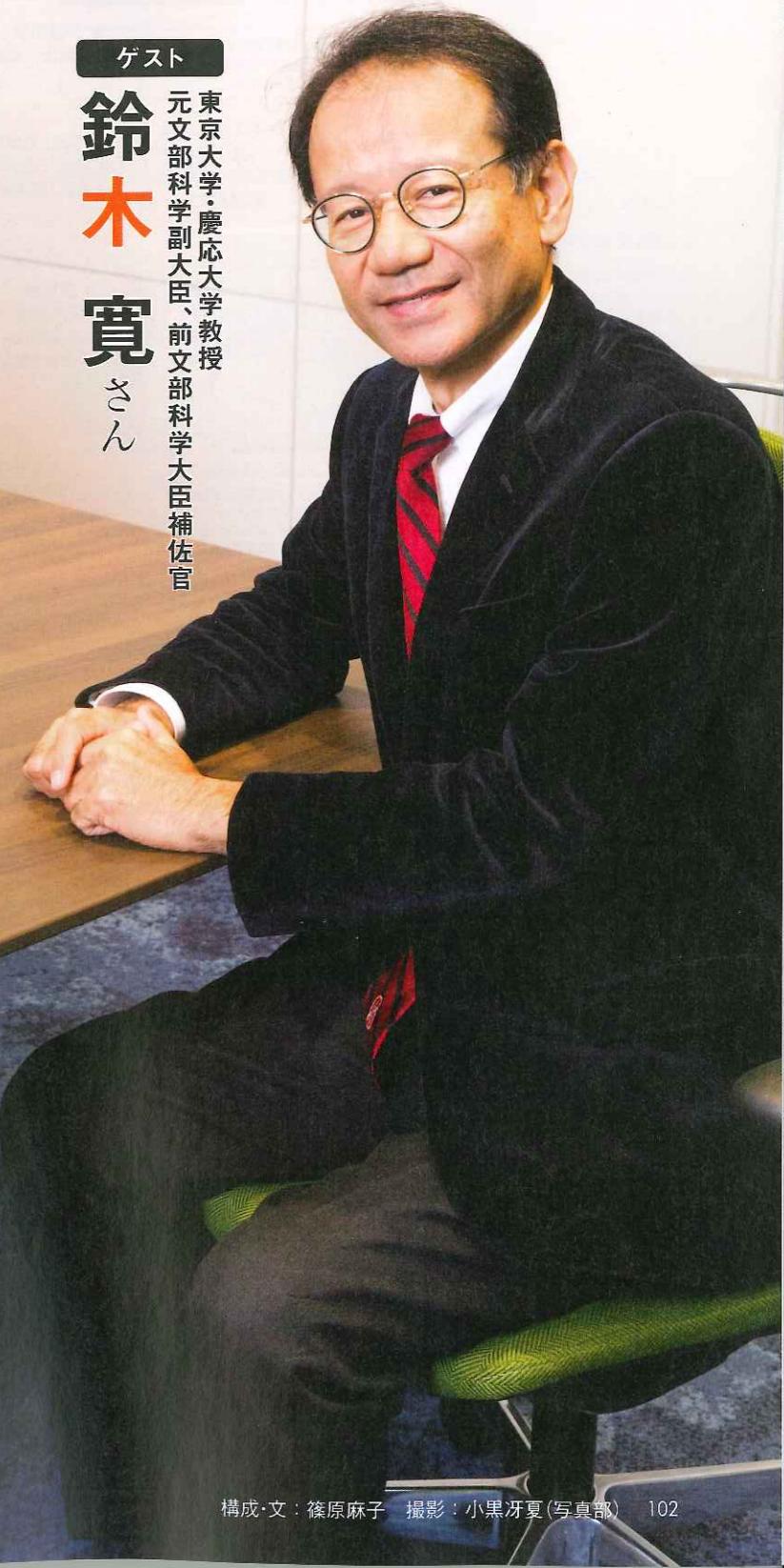


元官僚・政治家の鈴木さんは、慶應大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の「すずかんゼミ」から多くの社会企業家を世に送り出しています。次代の人間を育てるために奮闘している者同士の熱いトークには、子育てのヒントが満載です。

連載  
07 花まる学習会代表 高濱正伸の  
花まる TALK

ゲスト  
**鈴木 寛**さん

東京大学・慶應大学教授  
元文部科学副大臣、前文部科学大臣補佐官



東京大学・慶應大学教授  
元文部科学副大臣、前文部科学大臣補佐官  
**鈴木 寛**(すずき かん)さん

1964年、兵庫県明石市生まれ。東京大学法学院卒業後、通商産業省に入省。95年夏から、通産省勤務の傍ら私塾「すずかんゼミ」主宰、現在に至る。2001年参議院議員に初当選し、12年間在任。現在は、多数の大学の客員教授のほか、日本サッカー協会理事、NPO法人日本教育再興連盟代表理事、独立行政法人日本スポーツ振興センター顧問、JASRAC理事、(一社)ストリート・ラグビー・アライアンス代表理事、(一社)日本レス・ラフティング協会会長、(一社)INOCHI未来フォーラム理事なども務める。

TALK

「夢中力」を育てるために  
たくさんつまみぐいをさせて  
飽きるまでやらせて  
あげましょう



官僚から政治家を経て  
熱血教育人になった理由

高濱 それにもしても、驚くほど肩書がたくさんありますね。

鈴木 いつの間にかこんなに増えてしました。僕は学生のころから興味のあるものにはなんでも手を出して面白がるタイプでした。社会に出てからいろいろなところに顔をつっこんでいたら、こうなった(笑)。

高濱 ではまず「すずかんとはいかなる人物なのか」ということについて、教えてもらえますか。通産省の役人だったのに、いつの間にか学生相手に「すずかんゼミ」を聞いて数多くの精鋭を育てたかと思えば、国會議員を12年間務めて文科副大臣や補佐官の経験もある。先般話題となつた、30年ぶりの大学入試改革にも相当尽力されたと聞いています。

鈴木 社会で求められる人材が大きく変わってきた現状、従来のままの教育ではないと誰もが思っています。本来は高校教育、大学入試、大学教育が三

位一体となって変わるのが望ましいのですが、一番即効性のある大学入試から着手したんですよ。入試が変われば必然的に学校、塾、家庭を含めて教育界全体が変わっていきますから。残念ながら今は見送りになってしまったものもありますが、私はもう現場から離れていますが、いい形で変わってくれることを願うばかりです。

高濱 そうなんですか!? ジャア、あの大成功はうれしかったでしょうね。僕も見にきましたよ。

鈴木 新国立競技場の設計変更で、一時は開催が危ぶまれたこともありましたから感激もひとしおですよ。もつとも、実現が難しいとなると、いつそ燃えてスイッチが入るタイプですが。

高濱 そうでないとできない仕事ですね。

「今は明治維新以来、いや  
産業革命以来の社会の変革期です。  
そんなとき必要なのは、教育!」

(鈴木)



世の中が大きく変わる時代は面白がれる、樂しめる人間がより大きく化ける可能性があります

(高濱)

10代のころの成績なんて  
誤差の範囲内でしかありません。  
人は夢中になれば必ず伸びます

(鈴)

高濱 逆境を楽しめ、ですね。

青春を謳歌できましたから。サッカー部に入つて、市で優勝したんですよ。

高濱 エースだつたんですか。

鈴木 いや、選手としてはたいしたことないし、チームも弱小でした。でもマネジャーでもあつた僕は、チームが強くなるために秘策を練つたんです。

高濱 ほほう。どんな策を？

鈴木 うちは二つグラウンドがあつて、一つをサッカー部が自由に使えたんで。だからサッカーの強い高校を呼んで、しそつちゅう練習試合をするようにしました。とくに隣の高校は強豪校だつたので、可笑も。最初ま0対0で負けたけど、

ソトという概念が生まれたころでもありました。世の中が大きく変わる転換期が来る、これからは教育だと強く思いました。**高瀬** そうして始めた「すずかんゼミ」は、平成の松下村塾と呼ばれています。**鈴木** 学びは、人生をどう生きるかの手段です。とくに今は明治維新以来、いや産業革命以来の社会の変革期だから、教育の果たす役割は大きい。肩書の多い僕だけど、このゼミ主宰の肩書だけは、おそらく10年後、いやもつと先も、一生残しておきたいですね。

**高瀬** まさにライフワークですね。事実、数多くのすずかんゼミ卒業生が、世の中に躍り出ています。

**鈴木** 集まつてくる学生が面白いやつばかりですから。でもバリバリに優秀、というわけでもないんですよ。ゼミ出身で活躍している人間を見ていると、人は才能ではなく性格だとしみじみ思います。

**高瀬** まさに。成績が優秀な人や、知識が豊富な人よりも、面白がれる人のほうが化けますね。とくにこれからは。

**鈴木** そういう、今ある職業のうち6割、い

やり割はなくなるかもしれない。悲観的な話ではなく、新しい職業が次々と生まれる時代でもあるんです。これからの方に必要なのは、知識や情報やモノの量ではなく、それをどう活用するかです。

**高濱** これまでの常識が通用しない時代をどう生き抜くか。

**鈴木** でもそれと一緒に、古今東西、人間はやはり言葉の動物です。読むこと書くことで、人間は深く学び、思考する。

**高濱** 私も強くそう思います。言葉の力はすべての学力の土台ですからね。

**鈴木** そもそも10代の優秀さって、僕は誤差の範囲内だと思っています。

**高濱** 誤差！ 言えてます！

**鈴木** 何か本当に夢中になれるものを見つけたら、人は化けます。あつという間に伸びますよ。夢中になつて勉強するといきなりガーッと伸びる。僕だって、政治経済を勉強したって記憶がない。趣味を育てましょうと言つているんです。で、喜一憂するより、何かに夢中になれる子を育てましょーと言つているんです。で、

A black and white photograph of Wang Qishan, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and a patterned tie. He is smiling and looking slightly to his right. The background is a plain, light-colored wall.

も親御さんはまじめだから、それを聞いて今度は、うちの子は飽きっぽくて夢中になれるものがないと悩んでしまつ。 鈴木 飽きたつていいんですよ、子どもが飽きっぽいのは当たり前ですからね。 無理に深追いさせることなく、次に行けばいいんです。夢中のタネはもらうものではなく、探すものです。僕なんて、なんでもかんでも気になるものに手をつけていたけど。

高濱 そろそろ、すずかんさんの子ども時代の話を聞きましょうか。

鈴木 父が転勤族だったので、小学校は何回か変わりました。転校生だったから、けっこくもまれましたよ。

高濱 鈴木 そのころからリーダータイプ？  
　生意気な小学生でした。遅刻も忘れ物も多かった。担任の先生とは相当もめて、不登校の時期もあったんですよ。  
高濱 それは意外。  
鈴木 おまえはダメだ、心が曲がつていい、協調性がない、絶対出世しないとか、もうさんざん言われたなあ。  
高濱 そこまで言う（笑）。よくメガませんでしたね。  
鈴木 校長先生が救つてくれたんです。  
僕の話をよく聞いてくれて、わかつてくれた。僕の名前にかけたのか、論語の寛則得衆（寛大であれば人望を得られる）という言葉を教えてくれて。親にもたくさん手紙をくれました。  
高濱 相性の悪い先生と素晴らしい先生、敵と味方の両方に出会ったんですね。  
鈴木 そうです。両方の体験、それが教育の大切さを実感した僕の原点かもしれません（笑）。

高濱 卒業後は、灘中、灘高に進んで。  
鈴木 内申が悪いと、いい公立には行けないとその先生に言わされたので（笑）。だ

A group of seven young men, likely members of the NADA team, posing outdoors. Four are standing in the back row, and three are sitting in the front row. The standing men are wearing white shirts with 'NADA' printed on them, and the man on the far right is wearing a green shirt with 'NADA' on it. The man in the front row on the left is holding a certificate or award.

だつたことも驚きだつた  
分野は自由、これと決め  
ら深く没頭する。まさに  
想である。それは、少年  
代の「無我夢中の遊び」  
延長にあるのだろう。

対談を終えて =

問題児でも関係なし

「夢中力」のすこさ

から感謝しないと。僕は楽観的というかラテン系というか、起きたことにはすべて意味があると思うほうなんですよ。

**高濱** 逆境を楽しめ、ですね。

**鈴木** そう、おかげで自由な校風の灘で青春を謳歌できましたから。サッカー部に入つて、市で優勝したんですよ。

**高濱** エースだつたんですか。

**鈴木** いや、選手としてはたいしたことないし、チームも弱小でした。でもマネジャーでもあつた僕は、チームが強くなるために秘策を練つたんです。

**高濱** ほほう。どんな策を？

**鈴木** うちは二つのグラウンドがあつて、一つをサッカー部が自由に使えたんです。だからサッカーの強い高校を呼んで、ショットちゅう練習試合をするようにしました。とくに隣の高校は強豪校だったのでも、何度も。最初は10対0で負けたけど、

ソトという概念が生まれたころでもありました。世の中が大きく変わる転換期が来る、これからは教育だと強く思いました。**高瀬** そうして始めた「すずかんゼミ」は、平成の松下村塾と呼ばれています。**鈴木** 学びは、人生をどう生きるかの手段です。とくに今は明治維新以来、いや産業革命以来の社会の変革期だから、教育の果たす役割は大きい。肩書の多い僕だけど、このゼミ主宰の肩書だけは、おそらく10年後、いやもつと先も、一生残しておきたいですね。

**高瀬** まさにライフワークですね。事実、数多くのすずかんゼミ卒業生が、世の中に躍り出ています。

**鈴木** 集まつてくる学生が面白いやつばかりですから。でもバリバリに優秀、というわけでもないんですよ。ゼミ出身で活躍している人間を見ていると、人は才能ではなく性格だとしみじみ思います。

**高瀬** まさに。成績が優秀な人や、知識が豊富な人よりも、面白がれる人のほうが化けますね。とくにこれからは。

**鈴木** そういう、今ある職業のうち6割、い

やり割はなくなるかもしれない。悲観的な話ではなく、新しい職業が次々と生まれる時代でもあるんです。これからの方に必要なのは、知識や情報やモノの量ではなく、それをどう活用するかです。

**高濱** これまでの常識が通用しない時代をどう生き抜くか。

**鈴木** でもそれと一緒に、古今東西、人間はやはり言葉の動物です。読むこと書くことで、人間は深く学び、思考する。

**高濱** 私も強くそう思います。言葉の力はすべての学力の土台ですからね。

**鈴木** そもそも10代の優秀さって、僕は誤差の範囲内だと思っています。

**高濱** 誤差！ 言えてます！

**鈴木** 何か本当に夢中になれるものを見つけたら、人は化けます。あつという間に伸びますよ。夢中になつて勉強するといきなりガーッと伸びる。僕だって、政治経済を勉強したって記憶がない。趣味を育てましょうと言つているんです。で、喜一憂するより、何かに夢中になれる子を育てましょーと言つているんです。で、

A black and white portrait of Wang Qishan, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and a patterned tie. He is smiling and looking slightly to his right. The background is a plain, light-colored wall.

も親御さんはまじめだから、それを聞いて今度は、うちの子は飽きっぽくて夢中になれるものがないと悩んでしまつ。 鈴木 飽きたつていいんですよ、子どもが飽きっぽいのは当たり前ですからね。 無理に深追いさせることなく、次に行けばいいんです。夢中のタネはもらうものではなく、探すものです。僕なんて、なんでもかんでも気になるものに手をつけていたけど。

高濱 そろそろ、すずかんさんの子ども時代の話を聞きましょうか。

鈴木 父が転勤族だったので、小学校は何回か変わりました。転校生だったから、けっこくもまれましたよ。

高濱 鈴木 そのころからリーダータイプ？  
　生意気な小学生でした。遅刻も忘れ物も多かった。担任の先生とは相当もめて、不登校の時期もあったんですよ。  
高濱 それは意外。  
鈴木 おまえはダメだ、心が曲がつていい、協調性がない、絶対出世しないとか、もうさんざん言われたなあ。  
高濱 そこまで言う（笑）。よくメガませんでしたね。  
鈴木 校長先生が救つてくれたんです。  
僕の話をよく聞いてくれて、わかつてくれた。僕の名前にかけたのか、論語の寛則得衆（寛大であれば人望を得られる）という言葉を教えてくれて。親にもたくさん手紙をくれました。  
高濱 相性の悪い先生と素晴らしい先生、敵と味方の両方に出会ったんですね。  
鈴木 そうです。両方の体験、それが教育の大切さを実感した僕の原点かもしれません（笑）。

高濱 卒業後は、灘中、灘高に進んで。  
鈴木 内申が悪いと、いい公立には行けないとその先生に言わされたので（笑）。だ

A group of seven young men, likely members of the NADA team, posing outdoors. Four are standing in the back row, and three are sitting in the front row. The standing men are wearing white shirts with 'NADA' printed on them, and the man on the far right is wearing a green shirt with 'NADA' on it. The man in the front row on the left is holding a certificate or award.

灘高校でサッカーに夢中になっていたころ  
(前列中央が鎌木さん)。